

非住宅部門  
事例

16

空き家利活用コンテスト2024 優秀賞（アイデア賞）

## ホームベース焙煎所

由良宿の風情を未来へつなぐ、  
地域と観光客が交わるコーヒー焙煎所



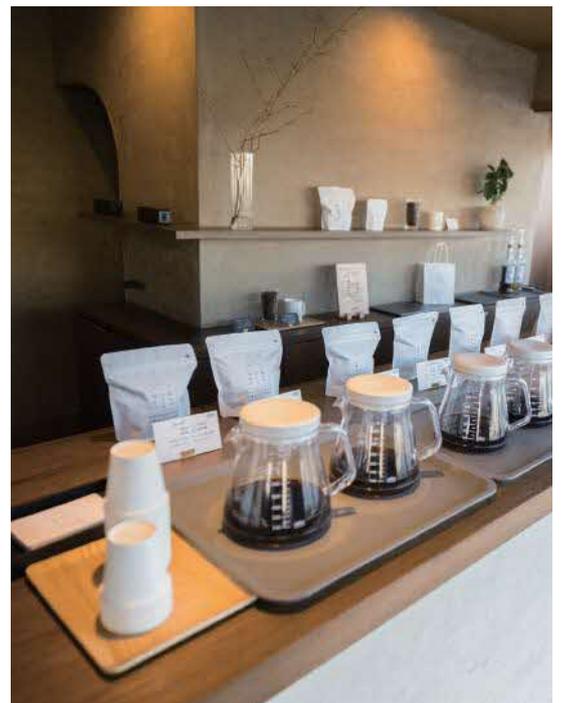
かつて美容院として地域に親しまれた空き家を、観光客と地元住民が集う憩いの場へとリノベーション。兵庫県から北栄町へ移住した店主が、家族とともに新しい生業を築くため、この物件に一目惚れし購入を決意した。

建物正面を旧山陰街道に向け、土壁や杉板を活かしたデザインへ改修するなど由良宿の風情を大切にしたい。さらに、北栄町内の古民家の解体現場から譲り受けた土壁をふるいにかけて再利用し、左官仕上げの温かみある内装を実現した。

また、トイレの左官作業を家族がDIYで行うなどの思い出作りや、地元の古建材を再利用することで、持続可能な建築のあり方も提案するなど多様なアイデアも光っている。

観光客も立ち寄りやすい自家焙煎コーヒースタンドとして営業し、テイクアウトしたコーヒーを片手に由良川沿いでくつろぐ人々の姿も。かつての街並みを感じられるこの場所が、地域の人々と観光客をつなぐ、新たな拠点となっている。

ガラス張りの空間で採光性に富んだ、明るい店内。同じ北栄町内の古民家の解体現場から譲り受けた土壁をふるいにかけて藁を混ぜて練り直し内装に再利用している。





内装は人工的ではなく自然素材のぬくもりがあるものにこだわっている。手塗りの土壁は表情があり調湿効果もアップ。



テイクアウトも楽しめるエントランス。人の気配を感じる空間づくりが優しい。





ガラス張りながらも座席に座ると外からの視線を気にせずくつろげる客席レイアウト。着席時の目線の高さに細長い窓を設け座席からは外のコナン通りを眺められる。西側はサッシを残したまま小窓風にしつらえ西日を防ぎ断熱効果もアップ。トイレの壁も家族のDIYで土壁の居心地のいい空間へ。

[ DATA ]



- 【所在地】東伯郡北栄町 【構造】木造平屋建て
- 【築年月】1957年
- 【改修後の用途】店舗（自家焙煎コーヒースタンド）
- 【間取り構成】個室1屋・焙煎室・トイレ
- 【改修期間】2024年2月～5月
- 【設計者】奥田達郎建築舎